

主催：NPO法人調布まちづくりの会 共催：調布市 後援：東京学芸大学

2016年調布連続学習会(全5回)

「まち談」

持続可能なまちづくりや地域のデザインなど、現代社会に一石を投じている実践者を講師に迎え、あらたな知恵と視点、尽きないチャレンジ精神などを一緒に探究してみませんか？

場所：調布市文化会館たづくり 10階 1001学習室
参加費700円(学生350円)。NPO調布まちづくりの会メンバー無料。
定員30名。参加受付はメールのみ
Eメールで件名「まち談」をお願いします。
宛先 tetsu@u-gakugei.ac.jp

第5回 桂有生さん 9月10日(土) (14:15～16:15)

—「まちが好きになる」横浜の都市デザイナー—



横浜市都市整備局都市デザイン室・都市デザイナー。アトリエ系建築設計事務所勤務の後、公募による専門職として07年より横浜市都市デザイン室。現在は新市庁舎や東横線廃線跡地のプロムナード化、金沢八景駅周辺のまちづくりなどを担当。プライベートでは公開結婚式「OPEN WEDDING!!」で新しい公共スペースや私の開き方を提示した。

2016年調布連続学習会「まち談」

場所：調布市文化会館たづくり 10階 1001学習室

主催：NPO法人調布まちづくりの会
(共催：調布市 後援：東京学芸大学)

<http://www.machikai.org/>

持続可能なまちづくりや地域のデザインなど、現代社会に一石を投じている実践者を講師に迎え、あらたな知恵と視点、尽きないチャレンジ精神などを一緒に探究してみませんか？【参加費700円(学生350円)。NPO調布まちづくりの会メンバー無料。定員30名。参加受付はメールのみ】

問合せ先 NPO法人調布まちづくりの会 副理事／まち談コーディネーター 鉄矢悦朗

Eメールで件名「まち談」でお願いします。宛先 tetsu@u-gakugei.ac.jp

開催済みの「まち談」 ～ご参集ありがとうございました。～



第1回 坂東幸輔さん 2月6日(土)

ー地域を育む人たちの話、建築が参加する地域の景観づくりー

京都市立芸術大学講師、坂東幸輔建築設計事務所主宰、BUS主宰、一級建築士。徳島県神山町、中山間地域で開けていない場所。しかし、若い人がどんどん入ってきて、非常に活発にいろいろと盛り上がっている。そんな、プロジェクトの建築面を担当されている。2016年5月からの第十五回ベネチア・ビエンナーレ建築展日本館の出展作家に選ばれている。<http://arch.geidai.ac.jp/Works-1>

第2回 椎原晶子さん 3月15日(火)

ー谷中らしさの育て方／らしさ考ー

地域プランナー、NPOたいとう歴史都市研究会 副理事長、晶地域文化研究所 代表。平成8年度東京都美しい景観づくり活動団体賞「谷中学校」。第3回楠本洋二賞最優秀賞(日本都市計画家協会)。現在、調布市景観審議会委員をされている。地域活性化の取り組み「上野桜木あたり」で2015グッドデザイン賞を受賞。

<https://www.g-mark.org/award/describe/43282>



第3回 石井健郎さん 5月14日(土)(14:15～16:15)

ーnanoda から見える「まちづくり、まちづかい、まちづきあい」ー

塩尻市役所職員。教育委員会で伝統的建造物群保存「奈良井(宿場町)」「木曾平沢(漆工町)」の保存に従事。全国町並み保存連盟理事。しおじりまちの教室 授業コーディネーター。塩尻の商店街のシャッターを開けよう！ということからはじまった『nanoda(ナノダ)』を副代表として牽引。<http://goo.gl/2XnA6E>



第4回 遠藤幹子さん 7月4日(月)(9:45～11:45)

ー社会の見かた、捉えかた、そして自然体で動くこと、つなぐことー

マザー・アーキテクチャー代表理事<http://mother-architecture.org/> 建築家。ペルーヘインスティテュート修了。留学中の出産子育てを経て2003年にoffice mikikoを開設、おとなも子どもも楽しめる空間を美術館などで多数手がける。2008年よりアフリカのHIV陽性者や妊産婦支援プロジェクトに携わり、建築と芸術の力で人の暮らしがより豊かになる活動を行う。JCDデザインアワード新人賞、こども環境学会デザイン奨励賞ほか。office mikiko一級建築士事務所代表。